

## 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



双方向の情報交流

町田市議会

所属: 志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

## 町田市の牧場を視察

町田市の堺地区にはいくつかの牧場や養豚場があり、それらを町田市農業委員会のお手配で、視察研修する機会がありました。



牧場の建物内では乳牛が飼育されており、衛生的な管理のもと、飼料には米国産干し草が使用されていました。その輸入干し草は水分がないことで栄養価が高く、価格が安価なものでした。その干し草を用いると、生乳の濃度や乳脂肪分も高くなり、消費者需要に合う牛乳が得られるとのことでした。牧草を使用しないことで、現在ではサイロが利用されていませんでした。一見しただけで、酪農経営の多難さを学びました。

ここで生産された牛乳から、相原町大戸にある「町田あいす工房ラッテ」でアイスやジェラートが生まれており、同様に「東京みるく工房ピュア」では低温殺菌牛乳や飲むヨーグルトが製造されており、一般販売や学校給食で高い評価と人気を得ています。

以前には、私の住まいから 500m ほどの小川地区にも乳牛が飼育されており、当時のインターン生の見学コースに入れていました。

## 青少年協議会の今回テーマ

本年度第 1 回目の町田市青少年問題協議会に、委員として出席しました。これは市長が会長職を務めている組織であり、市長は別の公務の為に挨拶後、直ぐに退席するシステムになっているようで今回もそうでした。もちろん、市長には多数の部下があるので後でまとめた報告を受ければ済むのでしょうか。

さて、今回は「思春期の親子関係が抱える家庭の問題について」と言うことが主題の会でした。主には、PTA 連合会のトップや学校の校長先生をはじめ、裁判所関係の皆さんなどが現場を踏まえた発言をされました。他の出席委員もそうした発言に従って、意見を述べる形式でした。今回、私は発言のタイミングがなく、何も話さないで会議を終えました。以前に、この組織が「決議などの形で決定がなされた方がよいのではないかと提起したことがあります、それが実施される兆候もなく、あくまで協議したものを会長である市長に報告するだけのものなのでしょう。

この思春期の課題で言うと、この間の夏休みの期間に非行に走るような事例も多く、今回の課題は時期的な要請もあったものと思います。一般に少年の事件はその年齢の人口減に伴って減少してはいるが、矯正施設に入る人数は変わっていないとのことでした。また、非行の動きも過去のように集団的な暴走行為のような形から、少人数・個人のスタイルに変化しているとのことでした。

その意味では、非行の形態が判別しにくい時代になっているということであり、家庭だけ、学校だけではそれを無くすことは難しいのではないかと考えました。

## ★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E 103-13 吉田つとむ (市議会議員)

# 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インタビュー生募集中



携帯QRコード  
でブログ閲覧

## 日大三高の野球の強さとは

町田市の代表的なスポーツと言えば野球です。市内には甲子園で優勝経験を持つ高校が2校もあります。すなわち桜美林学園と今年も西東京代表として出場の日大三高です。両校とも、全国的に野球の名門校として高い知名度があり、私たちが誇りとする存在です。



他方で、都立の場合は地区大会で勝ち抜くことすら容易でない高校もありますが、彼らはこの夏の甲子園の地区大会の敗退後、すぐ秋の大会に向けて練習に励んでいます。私は、その地区予選に何度も足を運び、地元高校に声援を送ってきました。たとえ、1回戦でコールド負けであったとしても、来年も応援を続けたいと思っています。それは、私が「今日の負けは、明日の勝ちへの糧」と言う考え方を持っているからです。

さて、日大三高を注意深く観察すると、野球の練習環境が整っていることはもちろん、やはり、監督が場数を踏んでおられることが最もその勝因なのではないでしょうか。そして、その名監督の下に選手も慕ってやってくるのだと思いました。勝利の方程式は、選手が監督・コーチの話をよく理解して実践した結果であろうと思う次第です。今年もその成果が発揮されるものと期待しています。

## 新設の清掃工場の視察内容

三鷹市と調布市で運営する「ふじみ衛生組合」の清掃工場（クリーンプラザふじみ）を視察しました。本年・平成25年3月31日に竣工したばかりのごみ焼却施設であり、114t×2基の焼却炉を持ち、ストーカー炉と言う町田市と同系統のスタイルです。その焼却灰をエコセメントと言う形の再資源化するタイプのものです。

建設は自治体＝組合が行い、運転は委託された民間事業者が行います。DBO方式と言う公設民営のタイプです。つまり、建設費用のねん出は自治体が行い、その後の運転は民間の委託業者で行うものです。ただし、収集作業は各々の自治体ごとに行われ、その一定量の確保をこの組合が保証するわけです。また、ここでごみ発電する電気は、委託者が売電できる制度になっていました。

この工場の設置場所は、三鷹・調布の両境でごみの搬入に効率的な場所になっており、三鷹市役所のそばで住宅街がすぐに迫る場所にあります。臭気対策や煙突からの排気ガスなどには、各段の配慮がしてありました。町田市の改修時に関して、役立つ先例をお見せいただきました。(DJ風の課長の説明)



★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com) mobile: [yoshidaben@docomo.ne.jp](mailto:yoshidaben@docomo.ne.jp)